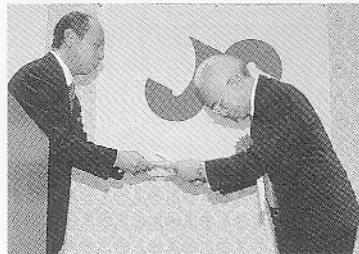


# 当所創立六十周年記念式典 並びに記念講演会開催

去る二月七日(木)志まやにおいて、当所『創立六十周年記念式典』と記念講演として「日本銀行新潟支店 高橋英行支店長による経済講演会」を開催しました。

当日は、稲葉大和衆議院議員、泉田新潟県知事、片山新発田市市長、敦井新潟県商工会議所連合会会頭をはじめとする多数のご来賓が出席のもと、一つの節目として開催致しました。佐藤会頭は式辞の中で、この十年間の歴代会頭の多くの功績を出席者に改めて紹介する一方、「現状の景気は、マインド全体が大きく減速傾向へと移行」している事を前提とし、「企業間格差、地域間格差が更に大きくなる事が予想される。今こそ地域総合経済団体である『商工会議所』は、中小企業、特に小規模企業のニーズを的確に把握し、応えていかなければならない『時』だと考えています。地元会員企業の声を聞き、これからの施策や事業に反映させていきたい」と挨拶されました。

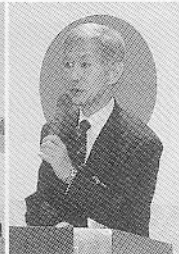
また、式典では、功労者である藤田加津栄顧問(前会頭)・星野宏参与(株萬盛社社長)に感謝状の贈呈と、当市の新発田市中心市街地活性化基金への寄付金の贈呈を行いました。



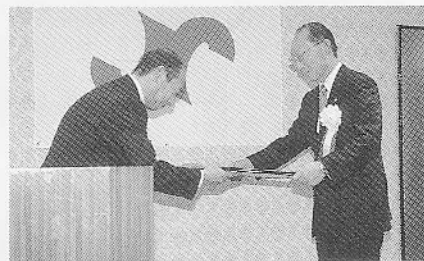
片山市長へ新発田市中心市街地活性化基金を贈呈(写真右)



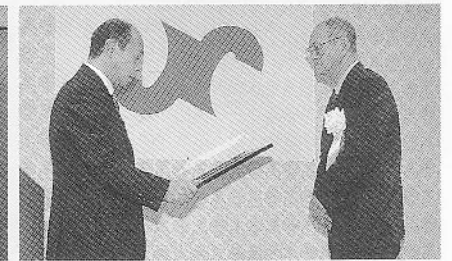
祝辞を述べる(写真右から)稲葉衆議院議員・泉田知事(代理・神保副知事)・敦井県連会頭



**講演内容抜粋**  
日本経済の景気は住宅投資の落ち込みなどから減速しているとみられるが、基調としては緩やかに拡大している。先行きについては当面減速するものの、その後緩やかな拡大を続けることとみられる。  
GDP(国内総生産)は五つの需要項目に分けられ個人消費は横ばい、設備投資・輸出は増加、住宅投資



感謝状を贈呈される藤田顧問(写真右)



感謝状を贈呈される星野参与(写真右)



記念講演する高橋英行氏

は大幅に減少、公共投資は低調している。特に住宅投資は改正建築基準法の影響が減少の原因になっている。一月の新潟県経済景気の状態は、企業生産は全体として高い水準を維持、企業収益は仕入価格の上昇により中小企業に弱さがみられているが、県内景気は総じて横ばい圏内の動きとなっている。しかし、県内人口が減少しているのので、企業誘致や観光による人口増加が必要である。  
今回の景気回復は企業規模・地域・業種によって全く違うため、波にのっていくためには、  
一、オンリーワンの経済、企業を目指す。  
二、経済のグローバル化により従来とは違う目線でいき、発想の転換を必要であると述べられました。